

年 組 名前:

図書館内に設置された応募用の箱
富士吉田市立図書館



赤池 悠、武田 寛明、森 航平(富士北麓)、飯野 稔平(大月・上野原)、森 航平(都留)



大喜利の答えを考え 図書館へ

富士吉田 毎月お題 ポイント加算

富士吉田市立図書館は、お題に沿った大喜利の答えを募集する「図書館IPPON!」を実施している。お題は毎月変わり、12月まで続く予定。図書館は「利用のきっかけにつながればいい」としている。

テレビ番組などを通して若い世代も含めて幅広い層に浸透している大喜利で、図書館に訪れるのを楽しんでもらおうと企画。お題は本や図書館にちなんだ内容で毎月変わる。月ごとに選ばれる優秀作品にはポイントが加算され、高得点者には「年間MVP」や「センス一受賞」の称号と商品券などが贈られる。

9月のお題は「えっ?あなたが館長だったの?どんな館長?」。館内やホームページにある応募用紙に回答やペネームを記入した上で、26日までに館内に設置された応募箱に入れる。高橋百合子館長は「大喜利の回答を考えながら図書館に足を運んでほしい」と呼びかけている。

図書館の利用者登録をしている人であれば誰でも応募できる。問い合わせは同図書館、電話0555(22)0706。

〈赤池悠〉

(2024年9月10日付 山梨日日新聞17面)

問1

富士吉田市立図書館が、大喜利の答えを募集する企画を始めた理由を教えてください。

.....

問2

毎月変わる大喜利のお題は、どのような内容ですか。

.....

問3

9月は「えっ?あなたが館長だったの?どんな館長?」です。あなたの答えを考えてください。

.....